



オドリコソウ

5月10日号
2010
vol.116

福岡

遠 加 良

議会だより

3月定例会

平成22年度予算可決 2P

条例／補正予算 ……6P

委員会レポート ……8P

一般質問 ……9P～11P

・中央公民館改修時、

学校施設は開放すべきだ！

・新たな行財政改革の策定と

今後の行政運営は！

・県町村会に

外部監査制度をつくるべきだ！

わがまちの伝統文化 12P

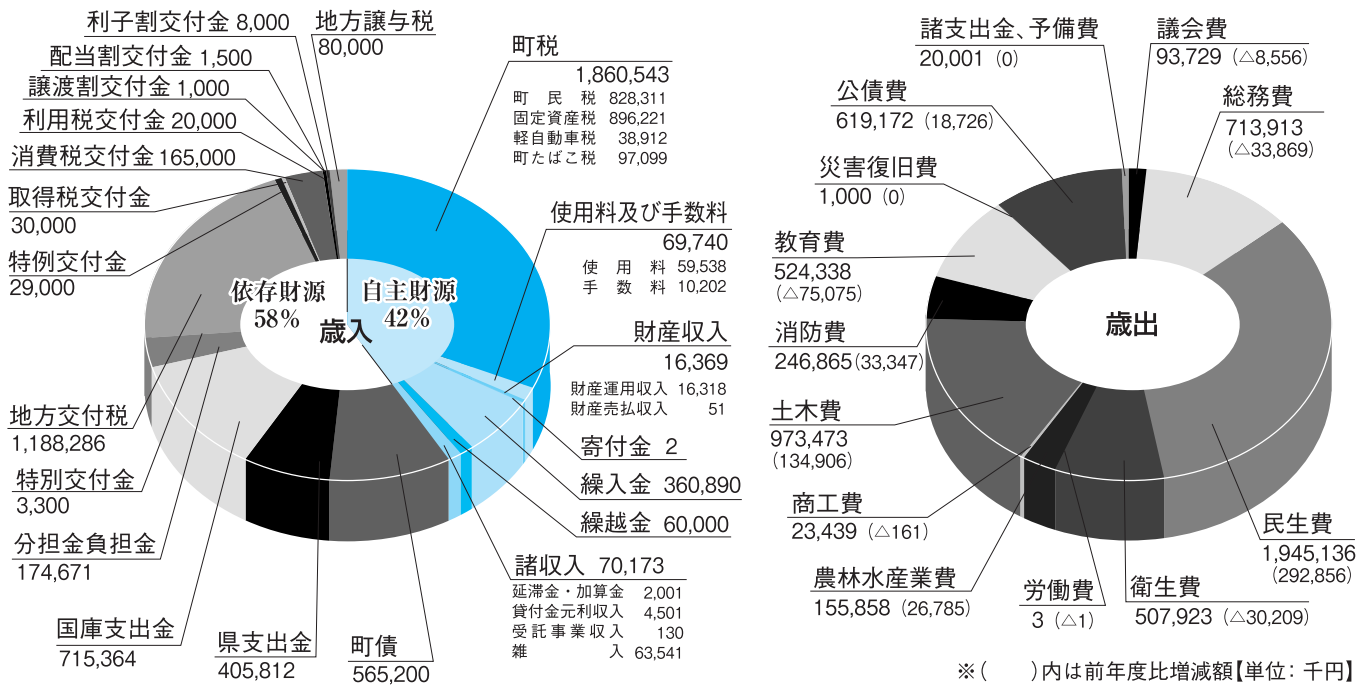


たこあげ大会会場にて

自主財源50%きる

平成22年度予算可決

一般会計予算 58億2,485万円



民生費 年々増加 歳出比率 33%

平成22年度一般会計予算は、前年度より3億5874万円(6.6%)増の58億2485万円となった。

歳入面では、平成21年度より引き続き経済の伸び悩みから、町税等の税収や各種交付金の減収が予想されるが、今年度から支給される子ども手当や環境並びに緊急雇用に関する補助金などの収入があり前年度より増額の予算となっている。

しかし、国の施策や新制度などの取り組みが多く、自主財源を伴う事業については今まで同様依然として厳しい状況下である。

歳出面で減額や節減した主なものは、総務費(職員の人員削減や地域手当の廃止、旅費交通費の見直し等)や事業完了と縮小に伴う費用などである。増加したものは児童運営費(子ども手当新設)や学童保育費(運営委託料の増など)、河川維持費や都市公園事業費などが主なものである。

最もかかる費用は依然民生費で19億4513万円(平成21年度比2億9285万円増)で、高齢者・障害者福祉や児童・乳幼児関係が大きな金額を占めている。

今後も民生費についての増加傾向は免れない状況である。

実質全体的な予算総額は大幅増額であるが、町税収入の減収で自主財源が厳しく、国・県交付金や補助金を活用する事業が多くなっている。

しかし、住民サービスの低下や町民の方々への不満や負担をかけないよう、今後も皆様のご理解と地域コミュニティの構築をお願いし、行財政運営に取り組んでいかなければならない。

町税収入大幅減↓

歳出の主なもの

- ◆駅前駐輪場改修工事 …… 12,200千円
(建築後経年劣化の解消)



- ◆戸切川・宮の前橋架け替え工事負担金 …… 98,751千円
(別府地区戸切川改修並びに宮の前橋老朽化工事)



- ◆庁舎グリーンニューディール事業費 10,500千円
(LED照明取付け・壁面緑化)

- ◆障害福祉施設備品購入費 …… 4,200千円
(「さくら」車椅子対応型バス買替え)

- ◆障害児童デイサービス事業運営費負担金 3,957千円
(岡垣町「くすのき」へ)

- ◆子育て支援拠点事業委託料 …… 3,074千円
(ふれあいの里内でのぐっぴい運営を町社協へ委託)



- ◆子ども手当 …… 287,313千円
(支給月6月、10月、2月の4ヶ月毎)

- ◆環境基本計画策定委託料 …… 2,940千円
(本町の環境問題に取り組むため計画)

- ◆消費者行政費 …… 6,427千円
(消費者相談員を常駐で配置し、相談室を整備)

- ◆道路新設改良費 …… 4,700千円
(白毛踏切【別府地区】道路路線変更・測量設計委託料)

- ◆都市計画道路見直し業務委託料 …… 4,725千円
(町内5路線の都市計画道路を現状に沿って見直す)

- ◆中央公園、砂田公園工事費 …… 34,000千円
(今古賀地区の公園整備・トイレ新設など)

- ◆災害対策備蓄倉庫新築工事費 …… 37,848千円
(災害時に対応するため、図書館横に建設)

- ◆学校図書購入費 小学校 …… 1,089千円
中学校 …… 996千円
(充足率の向上と図書の充実)

- ◆遠賀中学校駐輪場増設工事 …… 1,837千円
(自転車通学者に対応し80台分を増設)



- ◆地区公民館デジタルテレビ購入費 2,700千円
(町内全地区公民館に設置)

- ◆学童並びに町民体育館AED購入費 1,362千円
(非常時の応急処置に使用)

町長施政方針のポイント

都市基盤の整備

●「商店街振興計画」を活用し、JR遠賀川駅周辺を中心都市街地の土地有効活用

生活環境の整備

- ごみ減量化については、生ごみの自家処理を推進するために、ダンボールコンポストの普及に向けた取り組み
- 災害時に避難所へ供給するための食糧品などを保存する備蓄倉庫の建築
- コミバスについては、路線及び運行形態を変えた実証運行の実施

福祉のまちづくり

- 3歳未満児の保育料を見直し、子育て世代の経済的負担の軽減を図る
- ふれあいの里センターで子育ての拠点となるひろばを開設
- 利用者が増加した南学童保育を分割し、第2学童を開設
- 女性特有のがん検診推進事業は、県の補助金の有無に関わらず、5年間は継続して実施

生涯学習の推進

- ニュージーランドの中学生との交流事業は休止し、今後の取り組みについて検討
- 浅木小学校、遠賀中学校、島門小学校の耐震補強工事
- 学校のトイレ環境の改善
- 遠賀町中央公民館の改修工事（平成23年2月末の完成予定）
- 各地区公民館にデジタル放送対応テレビを設置

産業の振興

- 地域農産物に対して、『知って、買って、ファンになる』取り組みの施行

開かれたまちづくり

- 協働のまちづくりの推進

一般会計予算審議

問

ふれあいの里大規模改修の目的は？

【大規模改修調査委託料 3,087千円】

問

芦屋競艇地元対策費交付金700万円の用途は？

【地域活性化基金元金積立金 2,000千円
芦屋競艇場周辺対策交付金 5,000千円】

答

基金に200万円を積み立て、町内を4級に区分し、1級30万円を鬼津・若松、2級20万円を島津・尾崎・松の本、3級10万円を前記以外の北部地区、4級5万円を南部地区に交付する。

答

ふれあいの里も築後15年経過し、経年劣化のため補修も多くなり、今回、大規模改修に向けての調査を行うものである。



▶ふれあいの里センター

特別会計予算審議

会計名	本年度予算額	前年度予算額
国民健康保険事業	20億9,313万円	20億8,740万円
住宅新築資金等貸付事業	1,777万円	1,868万円
遠賀霊園事業	4,661万円	1億1,648万円
学校給食事業	1億3,907万円	1億3,996万円
老人保健	36万円	96万円
地域下水道事業	1億2,930万円	1億2,385万円
農業集落排水事業	8,592万円	8,232万円
公共下水道事業	5億4,962万円	5億5,069万円
土地取得	45万円	50万円
後期高齢者医療	2億2,513万円	2億3,604万円

* 1万円未満は切り捨て

問

電気式生ゴミ処理機購入補助金を減額した理由は？

【購入費補助金 241千円】

答

前年度まで20台分を計上していたが今年度より10台とするものである。

理由は生ゴミ処理機が高額であることと、ダンボールコンポスト普及活動が順調で、そちらを利用する方が増加しているためである。

問

遠賀中間広域連携プロジェクト推進協議会負担金の活用内容は？

【推進協議会負担金 847千円】

答

平成21年度に行った振興策の協議から事業へと移し、遠賀郡と中間市が共同して地域振興に取り組むもので、シンポジウムや交流事業、秋はイベントを行う。



▶ 広域連携シンポジウム

問

中央公民館大規模改修後の開館はいつを予定しているのか？

答

平成23年の3月を予定している。工事期間は12月10日を予定しているが、不測の事態での期間や備品等の搬入並びに開館準備に時間が必要で若干余裕を持って開館する。

問

第2遠賀南学童保育クラブを新設する理由は。またどこに新設するのか？

【学童設置工事費 1,050千円】

答

現在南学童の利用児童が増加し定員を超えるため、文部科学省の基準（補助基準）に沿わずに、浅木小学校の余裕教室を活用し第2南学童を新設し運営を行う。



▶ 第2南学童

問

文化ふれあい事業・住民参加型イベント補助金の減額の理由は？

【住民参加型イベント補助金 100千円】

答

平成21年度実績で2事業行われた分を予算計上し、今後新たに公募型の地域活性化型の事業を新機構で取り組む考えである。



▶ キャンドルナイト

|| 地域下水道事業 ||

問

一般財源より地域下水道特別会計へ31,500千円繰出す理由は？

答

地域住宅交付金(事業費の45%)を活用し6団地の廃止浄化槽の撤去・整備を行うもの。交付金の受け入れは一般会計となるため。

|| 学校給食事業 ||

問

給食センター専門部会委員の費用弁償が計上されていないが、その役割を終えて結論がでたのか。

答

効率的な町行政運営と財政状況などを総合的に勘案し、給食調理及び配送業務の外部委託についてはやむなしとの結論に達した。

|| 土地取得 ||

問

予算規模が小さいが、土地取得を特別会計にしておく必要があるのか。

答

土地開発基金の管理と土地先行取得については特別会計を設置するのが国の方針である。

3月

定例会

3月3日から25日までの23日間開催され、平成22年度当初予算をはじめ、補正予算、条例の制定や一部改正など、上程された議案46件について審議を行いました。

新年度予算については、議員全員による予算特別委員会が設置され、4日間にわたる慎重審議を経て全員一致で可決されました。

条例

主なもの

●暴力団等排除条例の制定

(全員一致可決)

暴力団員との交際を慎むとともに、暴力団等を利用しない、金を出さない、恐れないことを基本とし、町と町民が連携して暴力団等の排除を推進

●一括議題

●情報公開条例の一部改正

●個人情報保護条例の一部改正

●手数料条例の一部改正

(全員一致可決)

情報公開の本来の趣旨から行政が保有する文書については、積極的に公開する責務がある。よって、現在有料の手数料を無料化

平成21年度

一般会計補正予算

1億3,019万1千円減額

(全員一致可決)

おもに、国の第一次補正関連の地域活性化・公共投資臨時交付金、第二次補正の地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用した事業（平成22年度実施）内容の予算計上

●国民健康保険特別会計繰出金

4,776千円

●ボート周辺対策交付金

4,770千円

●新型インフルエンザ接種補助金

▲10,447千円

平成20年度の差額分を各地区に交付する

●遠賀・中間地域広域事務組合負担金(ゴミ施設)

▲18,422千円

●小・中学校デジタル放送アンテナ工事実施設計委託料

▲150千円

可燃ごみ処理及び搬送委託料の減
ごみ袋発注数量減

入札による執行残

●公園維持修繕事業費

1,500千円

14ヶ所の公園の遊具等の修繕

●芦屋町・遠賀町間専用回線整備事業費

4,500千円

●小・中学校トイレ改修工事費

小学校 7,100千円
中学校 4,400千円

電算システム共同利用に係る専用の光ケーブル
回線敷設遠賀町分按分

和式トイレの一部を洋式に改修

平成22年度実施事業

●一括議題

〔職員の手当に関する条例の一部改正〕
〔特別職職員の手当に関する条例の一部改正〕

(全員一致可決)

国家公務員退職手当法が一部改正され、在職中に懲戒免職などの処分を受けるべき行為をしたと退職後に認められた者の退職手当の全部又は一部を返納させることができる。

●ふれあいの里設置及び管理に

関する条例の一部改正

(全員一致可決)

事務室及びクラブ室を改修し子育て支援事業の拠点とする

●環境基本条例の制定

(全員一致可決)

環境基本計画を策定し条例を制定するもの

●地域活性化基金の設置、管理及び
処分に関する条例の制定

(全員一致可決)

競艇施行組合の解散により、芦屋町から地元対策金が交付される。その一部を地域活性化を促進するコミュニティ事業に活用するため基金に積立

●上別府添ヶ谷ため池フェンス整備事業費

1,300千円



▲上別府添ヶ谷ため池

●遠賀北部・南部道路

切削オーバーレイ工事事業費

11,000千円

「オーバーレイ工事とは？」

切削機を使い路面を数センチ削りその上に新たなアスファルトを施工するもの。特徴は短期の交通規制ですむ経済的な工法で路面の荒れ・わだち等を改修。



▲切削オーバーレイ工事

●第二町民体育館工事請負費

8,537千円

天井の張替え(360㎡)2,394千円、
屋根防水(350㎡)6,143千円



▲第二町民体育館天井



▲改修を行う和式トイレ

工事請負契約の締結

○浅木小学校耐震改修工事

(全員一致可決)

校舎に鉄骨ブレースなどの耐震補強。体育館には屋根を固定するアンカー増設。東側校舎の屋根防水工事
 受注金額：7035万円
 受注会社：(株)福山組
 工期：平成22年9月30日

○中央公民館改修工事

(賛成多数可決)

内容は、耐震補強・アスベスト除去・エレベーター棟増築・空調設備・電気設備・舞台設備などの工事
 受注金額：4億582万5千円
 受注会社：大末建設(株)九州支店
 工期：平成22年12月10日

○島門小学校耐震改修工事

(全員一致可決)

校舎に鉄骨ブレースなどの耐震補強。体育館には屋根を固定するアンカー増設。校舎の屋根防水工事
 受注金額：6405万円
 受注会社：若築建設(株)
 北九州営業所

工期：平成22年9月30日

意見書

○外国人地方参政権付与に関する意見書

(賛成多数可決・関係機関に送付)

(要旨)

永住外国人地方参政権にはさまざまな問題点があり、時間をかけた十分な国民的議論が必要であります。つきましては、永住外国人地方参政権付与に関しては、個人の尊厳を尊重しつつも、慎重に議論していただきますよう要望します。

第二常任委員会

委員会レポート

2月5日、第二常任委員会は、駅南開発（JR遠賀川駅自由通路線）の進捗状況及び遠賀・中間広域行政事務組合による「火葬施設整備に伴う基本計画」の現地視察として火葬施設（天生園）を視察した。

火葬施設(天生園)整備計画について

整備の必要性

火葬施設(天生園)は、昭和48年3月に竣工、火葬炉6基で稼働し、現在までに補修、改修及び構造変更を行ってきた。しかし、施設は建設から約36年が経過し老朽化が進み、平成18年度の調査により施設の天井にアスベストが使用されていることが判明した。今のところ、浮遊していないことが確認されているが、除去等の抜本的対策が必要である。

また、火葬炉については平成24年に対応年数を経過するものがあり、将来の需要に対応可能な炉数を整備する必要がある。



整備計画

■ユニバーサルデザインへの対応:

バリアフリーや自動ドア・車イス向けのスロープ等の整備

■待合室:現在の4部屋から6部屋に増加

■火葬炉:現在の6基(普通炉4基、大型炉2基)から7基(すべて大型炉)平成33年には8基

■収骨室:現在の2室から3室

■工期:平成23年～平成25年

(平成25年4月供用開始予定)

■総工費:15億8千万円(予定)



はぎもと えつこ
萩本 悦子 議員



中央公民館改修時、 学校施設は開放すべきだ!



善処する。



改修を待つ中央公民館

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての権限及び評価報告書

報告書の内容について、不備を指摘したことにより、質疑が中断しました。後日、訂正提出される報告書について、次の機会に再質問します。

学校施設の開放

議員 中央公民館の改修に伴い、代替施設が見つからない団体がある。学校施設の利用を要望したが、断られたとのことだ。平成19年12月議会での私の余裕教室利用についての質問に対する教育長の答弁は「住民からの要望があれば、受け入れる体制がある」とのことだった。今回の対応は、答弁とは異なるが・・・

教育長 今回の事態は、十分に把握していなかった。

た。断った理由は何かを学校側に聞いて善処する。

学校図書館の充実

議員 本町の学校図書館の蔵書には、古い資料やカビが生えているものがある。利用価値のない蔵書は、廃棄すべきだ。

教育長 古いものは廃棄するのが一番の方法だと思う。

しかし、国が定める蔵書率という基準がある。蔵書率100パーセントを目指すためには、新書の購入、古い本の廃棄は表裏一体だ。今後、研究していきたい。

議員 利用価値のない本を蔵書としてカウントしていないものか疑問だ。

本町の学校図書予算は、国の平均と比べて非常に少ない。国は、平成19年度から、読書教育充実のための図書購入費

として交付税措置をしている。どう考えるか。

教育長 平成22年度、島門小学校・遠賀中学校については、予算を増額している。

議員 子どもたちに読書の楽しさを伝えるためには、司書の配置がぜひ必要だ。

教育長 司書の配置はいいことだと思うが、重要性、順番性というものがあ。研究したい。

議員 教育施策要綱で謳われている学校図書館の充実というのは、ハード面だけでなく、子どもたちの心の充実も含まれていると考える。司書の配置を要望する。

一般質問の詳細については、遠賀町ホームページ「ようこそ議会へ」に議事録を掲載していますので、ご参照ください。

Q

新たな行財政改革の策定と今後の行政運営は！



はまおか みねさと
浜岡 峯達 議員

A

自立推進行動計画を活用し行財政の健全運営に努める。



事務事業評価制度の効果は

議員 予算編成で縮小、廃止したものを示せ。

町長 評価対象事業のうち、推進事業が32、見直し事業が37、廃止・中止事業が3となった。

議員 各課では事務事業評価制度に基づいて、予算編成が行われたのか。

町長 十分認識をた上で予算編成が行われていると認識をしている。

議員 予算編成ではマネジメントサイクルを回せと言ってきたがその結果は。

町長 マネジメントサイクルを活用し評価を行い、次の年に活かしていると認識をしている。

議員 昨年の6月定例会で遠賀町行政改革推進委員会を設置するとの答弁だったが、その後どうなっているか。

副町長 現段階ではどの分について公募をし、やつ

ていく部分があるのか、検討課題として今考えている。

議員 2期の自立推進行動のターゲットはなにか。

町長 来年度第5次を立てる事前の準備が始めるが、そういう部分で重要な年になると考えている。

職員の意識改革を図る方策は

議員 中央集権から地方主権に変わろうとしているが、職員の意識改革を図るのにどのような方策があるか。

町長 内容と目的を管理職だけではなく全職員に説明をし、行財政改革の必要性を理解させることが職員の意識改革につながるものと考ええる。

隣組の後継者育成

議員 自治区内での自治運営を今後どのようにするか、将来の展望を見定める必要があるのではないか。

町長 自治会組織で十分話し合い、今後の運営について協議をされたい。

議員 自治区内の運営で先進地の視察をし、職員が自治区に係りを持つというようなことを進めてはどうか。

町長 職員の出前講座等々で今回計画をしているので、そういうふうなものを通して、話をしたい。

議員 学識経験者を入れて、地域自治体をどのように進めて行くかビジョンを、早急に打ち立てる必要があると思うが。

町長 行政がやる仕事と自治会の仕事というのがある程度明確になるように説明させていただきたい。

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。



かただ しげる
堅田 繁 議員

Q

県町村会に外部監査制度をつくるべきだ!

A

理事・幹事のほか1名の外部監査委員を置くことにする。



町村会が入っている福岡県自治会館

県町村会会長と
前県副知事の贈収賄事件

議員 この事件の発端は、町村会が事務用品購入を装い作った裏金で、前副知事や県幹部職員への接待をしていたことだ。

市町村の公金、県民の税金で福岡県政がゆがめられていた。まさに地方自治を揺るがす大問題だ。今回の疑惑全容を徹底説明し、不正の防止策を講じるべきだ。

町長 全容の解明については、町村会および市町村振興協会の書類の多くが警察に押収されているので、返還されたら通帳関係書類の出入金の状況を確認する。

また、町村会の財務事務規定、事務決済規定、文書管理規定の整備・見直しを進めるとともに職員倫理研修や管理職研修を実施した。

議員 これを機会に外部監査制度を作るべきだ。

町長 事件を受け、町村会総会で理事、幹事のほかに、1名の外部監査委員を置くように規約改正をした。町村会とそれに関する諸団体との関係や組織のあり方についても再検討をする。

議員 外部の監査委員は複数にするべきだ。

町長 1名を置くことを総会で決議している。

議員 現在の県政治倫理条例は知事・副知事・県議会議員などが対象になっていない。特別職も含めるべきだ。

町長 県の執行部と県議会の判断で条例が制定されるものであると考える。

大型商業施設の
出店に伴う問題点

議員 尾崎地区周辺住民への交通環境・騒音対策は十分か。

町長 3号線側道と山手線交差点信号機の設置、施設北側出入り口付近のカーブミラー、路面表示、照明つきの駐車場案内板の設置、隣接する民家への騒音やプライバシーへの配慮、空調施設の室外機設置位置の検討、青少年非行防止対策などの指導を行った。

議員 交通弱者に対する安全確保、歩道・通学路の点検と見直しを行うべきだ。

教育長 田園や島門小学校方面から遠賀中への登下校する児童生徒に危険が及ぶように22年度に通学路の見直しを検討する。

伝統文化

守り継がれる地域行事

●松の本延命地藏尊

松の本の西の端に、通称延命地藏尊地藏堂と墓地があります。

正式には松風山延命庵と言ひ、年表では、時の執権北条時頼氏、鎌倉時代に開基建立され、約七百年経つた地藏堂です。庵主は姫小路篤胤とあり、昭和四十五年ごろに死亡され今日に至つています。今のお堂は明治二十四年に改築され、松の本の地名を残すかと思われのお堂の大松も今は枯れ、その株跡が昔を留めています。お堂の由来は、長年京に住んでいた一光という老人が故郷（遠賀県広渡三本松）に帰ろうと思ひ、筑前まで帰

ると言う知り合いのお坊様と一緒に旅をすることになった。その長旅の末、三本松（松の本）に着くと、一光老人はお坊様に自分の家で疲れを癒すよう薦めたが「私の代わりに仏様を残



お告げがあり、翌朝三本松のある丘に登ると松の木の根元に光り輝く仏像があつたそう、そのことに感謝した一光老人は、地藏庵のお堂を建てお祀りをしたと銘板に記されております。このようなことと地名が松の元の語源となつたとのこととです。しかし、過去帳や文献も昭和二十八年の大洪水で流失したとのことで、定かではありません。

現在お堂の墓地には無縁仏（約百二十）と墓碑併せ百五十二基が祀られているが、墓碑も風化、倒壊しているため、町内の石材会社のご好意ご協力（ボランティア）で慰霊塔や墓碑の改修が行われており、地域にとつては誠にありがたいこととあります。

松の本区 奥村 守

してまいります」と言い残し去つていかれました。しかしその仏像はどこにもありません。その夜のこと、老人の夢の中に仏様が現れ、「小高い三本松のところについてください」と

次回の定例会は 6月です。

お気軽に傍聴にお越しください。

詳しい日程は5月下旬に町ホームページでお知らせします。議会だよりに関するご意見感想をお待ちしております。

遠賀町議会事務局 TEL293-1235
e-mail: gikaijimukyoku@town.onga.lg.jp

編集後記

新しい息吹と躍動を感じる季節、こん盛りした雑木林の新緑に、際立つ山桜が数本悠々と咲く。野には真黄色に染まった菜の花のジュウタンに、天高くピーチク・パーチクと雲雀のさえずる情景に、ひと時華やいだ気持ちと心も癒された。今「地球にやさしい」「環境を守ろう」地球温暖化対策の言葉を連日耳にする。車・家電・住宅リフォームの、エコポイント制度が進められている。本町も環境にやさしい、新エネ・省エネ対策を進めているが、あの空の雲雀や鳥達が見下ろす、この町の自然環境が保てるため、私達の身近な生活を見直し、環境保全の原点に立ち戻りたいものです。

舛添 清美



広報調査特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 舛添 清美 |
| 副委員長 | 三原 光広 |
| 委員 | 堅田 繁 |
| | 古野 修 |
| | 平見 光司 |
| | 萩本 悦子 |
| 議長 | 濱之上 喜郎 |